

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について(2023 年度)

当社は、取締役及び監査役を対象に、2023 年度の取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要をお知らせします。

### 【取締役会評価実施要領】

対象者	取締役 9 名(うち非業務執行取締役 5 名(含 独立社外取締役 3 名)) 監査役 3 名(うち社外監査役 2 名(含 独立社外監査役 1 名)) 計 12 名
実施期間	2023 年 2 月 22 日～3 月 17 日
実施方法	対象者に対し、記名式でアンケートを実施 事務局にて回答を集計
質問内容	以下の 8 つの大項目に関する事項(設問数 18 問) ① 取締役会の構成と運営 ② 戦略と実行 ③ リスクと危機管理 ④ 企業倫理 ⑤ 業績のモニタリング ⑥ グループガバナンス ⑦ 経営陣の評価・報酬 ⑧ 株主との対話
評価方法	対象者の回答内容に基づき、取締役及び監査役において分析・評価を実施

### 【評価結果の概要及び評価結果から抽出された取締役会の実効性改善のための課題について】

評価の結果、取締役会のオンライン開催が通常となる中、審議にあたり重要な事項についてはより丁寧な事前説明、議長から議案に対する補足説明等が行われています。また議長のファシリテートにより、質疑応答以外の多様な意見交換の機会が増え、その結果、十分な議論がなされています。一方で、人的資本の観点から中核人材の多様性確保などを含めたサステナビリティに関する課題に対し、その課題を解決するための戦略と実行について、更なる議論の充実を図るべきとの意見等がありました。

今回の結果を踏まえて、特に評価結果の改善に向けて検討していく内容は、下記のとおりとなります。

## 1. 戦略と実行

戦略と実行においては、中期経営計画 2025 にて人的資本戦略やサステナビリティ推進基本方針を取締役会にて審議の上、策定したものの、具体的な取り組み内容やその進捗状況に関し、出席者が闊達に意見交換を行うため、より多くの情報提供を行い、取締役会における議論の一層の活性化を図ること。

## 2. リスクと危機管理

リスクと危機管理においては、最高リスク責任者(CRO)を任命するなど経営リスクマネジメント体制の整備を進めているものの、経営戦略と対になるリスクの把握や経営リスクへの対応状況の定期的なモニタリングに関して、取締役会への情報共有をより一層充実していくこと。

## 3. 企業倫理

企業倫理においては、パーパスやコーポレートボイス、バリューを改めて制定するなど社会における役割や事業の強みなどを再整理したものの、役員や従業員が遵守すべき具体的な行動指針や企業理念の浸透度合いを取締役会において定期的にモニタリングしていくこと。

## 4. グループガバナンス

持続的な事業領域拡大に伴い、国内及び海外の当社グループ各社の適正な取引状況の確認を含めたガバナンスを強化するとともに、当社グループ間のシナジーを最大化するための戦略に関して、取締役会として一層の議論を深めること。

今回の取締役会評価の結果を参考にしつつ、当社が置かれた経営環境を踏まえた最適なコーポレート・ガバナンス体制を構築すべく、引き続き改善を続けてまいります。

以上